

第3回次世代へ光り輝く「教育立県ちば」を推進する懇話会の開催について

第3回次世代へ光り輝く「教育立県ちば」を推進する懇話会を、平成30年10月15日（月）午後5時から千葉県教育会館で開催しました。

第3回の会議では、「学校指導体制の整備」と「いじめ不登校防止、特別支援教育、魅力ある学校づくり 等」をテーマに御意見をいただきました。

1 日 時

平成30年10月15日（月）午後5時から午後7時20分まで

2 場 所

千葉県教育会館 新館501

3 内 容

（1）学校指導体制の整備

（2）いじめ不登校防止、特別支援教育、魅力ある学校づくり 等

4 出席委員等

（1）委員

貞廣斎子座長、中山理副座長、天笠茂委員、大田紀子委員
（錢谷眞美委員は所用のため欠席）

（2）特別委員

明石要一特別委員、保坂亨特別委員、佐藤慎二特別委員

5 特別委員の主な意見

（1）学校指導体制の整備

【明石要一特別委員】

○ 「低学年主任教員」や「地域連携担当教員」の配置、チーム学校体制構築に向けた校長の人事権の拡大など、学校組織を有機的に動かすための制度改革が必要である。

○ コミュニティ・スクールを推進するためには、PTA会長経験者等をコーディネーターとする地域学校協働本部とセットで進めるとよい。

（2）いじめ不登校防止、特別支援教育、魅力ある学校づくり 等

【保坂亨特別委員】

○ 千葉県は、1950年代から訪問担当教員の配置や校内不登校児童生徒支援教室の設置に取り組み、松戸市が県内2校目の夜間中学校の開校を目指すなど、全国に先駆けて不登校問題に取り組んでいる。

○ 今後は、いじめや不登校の原因の一つとなっている子供の貧困問題への対応が、第3期基本計画策定に向けての大きな課題である。

【佐藤慎二特別委員】

○ 多くの自閉症や情緒障害の子供が高校に進学しているので、高校のホームルームや授業をもう一度見直すとともに、「通級による指導」の拡充や、学校設定科目「自立活動」を開講するコースの設置など、高校の教育を一層多様化する必要がある。

○ 市町村教育委員会と連携して、小学校、中学校の「通常学級」での特別支援教育、「通級による指導」、「特別支援学級」の一層の充実を図る必要がある。